

4. 13 淡路島を震源とする M 6. 3、震度 6 弱の地震

昨日早朝の 5 時 33 分頃淡路島付近を震源とする M 6. 3、震度 6 弱の地震があった。神戸の姉からの「大丈夫だから！」の電話で起こされ、急いで TV をつけて知った次第。

早速、故郷の淡路島・洲本市の兄に電話したが直ぐに繋がらず、何度か目に繋がり、みんな無事を知り安堵！

その後、淡路や阪神間にいる友人等に地震見舞いのメールをしたが、それぞれ無事との返信があり、安堵！

ある友からは「今回は揺れる時間が短かったのが良かったですが、洲本は先の震災よりも被害が大きいです。

我が家も、箆笥が倒れたり、食器が多く壊れたり、風呂場にひび割れが入り、タイルが壊れたりと今回のほうが被害大です。水道も電気も大丈夫なので片付けが終わったら、日常の生活に戻っています。」と返信があった。

他の友からも同じように「体感では先の阪神地震より大きく感じられました。」との返信。

18 年前の阪神淡路大震災（HP「雑学 BN」の、随想等関係（Ⅶ、2010.01.17.「阪神・淡路大震災から 15 年……」：参照）の時より揺れが大きかったのは、阪神淡路大震災の震源域は野島断層の北端だったが、昨日の震源域は野島断層の南端だったようなので、地理的に洲本に近かったからだろうか。

洲本は、徳島藩の出城として栄えた小さな城下町（HP「雑学 BN」の随想等関係（Ⅲ）、2005.1.10.「映画『北の零年』と、我が故郷：洲本市」：参照）なので、まだまだ古い家の町並みの残っていた地区は、マスコミ報道のように、瓦が落ちたり、壁が崩れた被害が多かったのだろうかと思う。

阪神間の友からの洲本の甥が撮ったという写真が転送されて来たが、やはり古い家並みの前の道路に瓦が散乱し、壁が崩れている被害状況の写真だった。

故郷が淡路島と知ってる友人、知人からは、メールや電話で「ご実家は大丈夫？」と次々とお尋ねをいただき、感謝、感謝の一日だった。

ここに、改めて感謝申し上げます。

さて、ふと考えてみれば、宇宙に浮かぶ地球という星は、殆どがマグマでその表面（プレート）に地表（大陸等）が乗ってるに過ぎず、地下のマグマの動きでプレートが動いているのだから、地震が起こるのも地球という星の自然のホンのちょっとした作用に過ぎないのだろうか。